

たまボラ

東大和ボランティア・市民活動センター

発行：東大和市社会福祉協議会

所在地：東大和市中央3-912-3

電話：042-564-0012（代表）

FAX：042-564-3680



P1 福祉祭開催について

P3 ボランティア運営委員訪問録

P2 第35回がんばれ自分！！みんなの
作品展の報告（上段）

P4 ぼらセンからのお知らせ

福祉標語最優秀作品と優秀作品の紹
介（下段）



第48回 東大和市福祉祭

～目に見えない 小さなやさしさ 広げよう～

（令和7年度福祉標語最優秀作品）

すべての市民が安心して生活できるように

日時 11月9日（日）

10時～14時30分

（開会式：9時45分）

内容：福祉団体による模擬店
（食品・バザー等）、展示、
PR、舞台プログラム 等

東大和市立中央公民館と市役所中庭周辺
を会場として開催！

詳細は、ホームペー
ジをご覧ください。



昨年度の福祉祭の様子



※記載の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

第35回がんばれ自分！！みんなの作品展が開催されました

【主催】
東大和市ボランティア会



作品の展示の様子

9月12日（金）と9月13日（土）に中央公民館で「第35回がんばれ自分！！みんなの作品展」が開催されました。

市内の高齢者・障害児者施設、共同作業所、団体、グループ等の皆さまが、日頃の活動の中で製作された作品を一堂に会して展示発表しました。参加団体は13団体、来場者436名（参加団体スタッフ含む）と盛況でした。来場者の方も楽しんでいました。



作品展の会場全体

令和7年度 福祉標語優秀作品が決まりました！

東大和ボランティア・市民活動センターでは、市内小学校の協力のもと、誰にでもやさしいまちづくりについて考え、助け合いなどの大切さについて学ぶ機会を作ることを目的に、市内の小学生を対象に、福祉標語を募集しました。その中から、最優秀作品1点と優秀作品9点を選考しました。

（努力賞89点）



佐藤 すみれ
（四小 五年）

すくわれる
まほうの言葉
「大丈夫」

東村 望愛
（三小 四年）

助け合い
みんながえ顔に
なるまほう

山中 柚葵
（二小 三年）

たすけあう
みんなのえがおを
まもりたい

坂本 悠斗
（一小 五年）

だれにでも
気づかいできる
まちであれ

★優秀作品★

目に見えない
小さなやさしさ
錦木 詩乃
（七小 三年）

★最優秀作品★

救いの手
求めるだれかが
きつといる
香川 美幸
（十小 六年）

声かけで
みんなの心に
橋をかける
板羽 陽菜乃
（九小 五年）

一人が動けば
みんなが動く
その勇気で
世界をかえよう
河津 朔
（八小 六年）

あいさつを
やさしくかわす
まちにしたい
増田 空翔
（六小 四年）

みんながね
いのちをつなぐ
かぎになる
並木 悠浩
（五小 三年）

◎福祉標語の選考を終えて

今年度も福祉標語の募集を行いました。「高齢の方や障害のある方など、誰にでもやさしいまちづくり」をテーマとして、市内小学生約4,200名を対象として募集しました。

選出方法は各小学校10校での予備審査にて努力賞数点を選出し、その中から選ばれた優秀作品10点に対し市民投票を行いました。その結果を踏まえて、東大和ボランティア・市民活動センター運営委員会にて、最優秀作品1点を選出しました。子どもたちが日常生活の中で感じている「やさしさ」や「思いやり」が、短い言葉の中に素直に表現された心温まる作品に接し、選考の難しさを改めて感じました。市民投票でも比較的多くの得票を得て「かわいらしさ」も感じた、東大和市立第七小学校の児童の作品を、最優秀作品と決定しました。

東大和ボランティア・市民活動センター運営委員長 高田 宗臣



～ボラセン委員訪問録～ ヒガシヤマトみらい基地

今回は、今年の7月にNPO法人格を取得され、市内でイベントを開催している「ヒガシヤマトみらい基地」を紹介します。運営委員会の伊藤委員の協力を得て、相澤委員が理事長の石原 寛大（いしはらかんた）さん（写真右）と浅利 研二郎（あさりけんじろう）さん（写真左）に活動の取材をし、話を伺いました。



【活動のはじまり】

「デジタルではなく、アナログな体験の中から学びを得て、子どもたちの感性を育てたい。」そんな思いから、2017年に浅利さんたちは地域のコミュニティ団体として活動をスタートしました。浅利さんは、これまで多くの人や自然、地域社会から恩恵を受けてきたと感じ「社会貢献という形で地域に恩返しをしたい。」という思いが活動の原点だったと話します。さらに「自分が体力のあるうちに行動を示すことで、若い世代も巻き込みたい。」と、世代を超えた地域活動を目指してきました。

活動初期には「クリスマスの森」という長期ワークショップイベントを開催。子どもたちがアートや自然の中で学び、感じることを大切にしたいこのイベントは、初年度から大きな反響を呼びました。



クリスマスの森の様子↑

やがてその思いに賛同する市民も増え「本気で取り組む姿勢は、必ず伝わる。」と浅利さんは振り返ります。

イベントには児童養護施設の子どもたちも参加し、「地域全体で子どもたちを育てることの大切さを改めて実感する機会にもなりました。」

非日常の体験を通して子どもたちの感性を育み、未来をつくる力につなげていく――。その気づきが、現在の活動の礎となっています。

【現在の取組】

「自分たちの活動が地域振興につながっている。」そう感じた浅利さんたちは、活動を継続し、さらに発展させるために法人化を決意。そして今年7月14日、念願のNPO法人格を取得しました。

今後は、地域との連携をさらに深め、子どもや福祉、地域の課題解決にも積極的に取り組んでいくとのこと。 「地域で困っていることがあれば、ぜひ私たちに声をかけてください。」

この言葉に、地域への温かい想いと確かな決意が込められています。

【未来へのビジョン】

設立当初から変わらぬ志は、「未来を担う子どもたちとともに、地域に新しい文化と誇りを育てていく」こと。



ジブリイベントの様子ー

ー八幡神社例大祭×森フェスの様子



これまでに「クリスマスの森」をはじめ、「八幡神社例大祭×森フェス」「東大和ビールフェスト」「ヒガシヤマト恐竜運動会」「手をつなぐ金次郎プロジェクト」、フリーマガジン『ヤマクラ』の発行や「ジブリイベント」など、ユニークで多彩な活動を展開してきました。いずれの取組にも共通しているのは、「ご縁」「つながり」「感謝」を何よりも大切にする姿勢です。

NPO法人ヒガシヤマトみらい基地の活動は、楽しいイベントを超えて、人と人とが出会い、心を通わせることで生まれる“エネルギーの循環”を生み出しています。その輪が広がることで、子どもたちが東大和の地に誇りと喜びを持って育っていける――そんな未来を目指して、日々活動が続けられています。

【取材を終えた感想】

今回の取材では、お二人の「地域を元気にしたい」という純粋で熱い想いに深く心を打たれました。その情熱を行動に移し続ける姿勢は、地域に希望と活力を与えています。

今後もこの素晴らしい取組が、より多くの人々をつなぎ、東大和の明るい未来を築いていくことを心から願っています。



恐竜運動会の様子↑

東大和ボランティア・市民活動センター
運営委員 相澤 靖

募 集

2025年度「第12回プラチナ・ギルドアワード」募集のお知らせ

認定NPO法人プラチナ・ギルドの会は、様々な社会課題に対し、シニア世代と現役世代が協働して「市民社会」を広げ「共生社会」の実現につながるよう、中間支援団体として活動を進めています。今回もこの活動の一環として、日本社会が抱える様々な社会課題の解決に向け日夜奮闘されている個人、団体の活躍ぶりを顕彰し、その活動を社会に知らしめ、支援・応援につなげていきたいと考えています。皆様の活動の一助となることを願い、奮っての応募をお待ちしています。

【応募期間】2025年10月1日（水）～12月15日（月）

応募者資格（個人・団体）等、応募についての詳細は、ホームページから活動概況⇒顕彰事業をご参照ください。

ホームページアドレス <https://www.platina-guild.org>

プラチナ・ギルド アワード事務局 〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-13 GBS-A-6

報 告

市内小学校で福祉教育を実施しました！（6月～10月）

本センターでは、市内小学校の福祉教育の一助として、車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験等を実施しています。また、福祉教育のための体験セットの貸し出しやセットの使い方の指導なども行っていますので、お気軽にお問い合わせください。6月～10月の実績は次のとおりです。

- ・6月19日（木）第十小学校4年生 車いす体験
- ・7月 1日（火）第五小学校4年生 高齢者疑似体験
- ・7月 8日（火）第五小学校4年生 アイマスク体験
と視覚障害者の方の講話
- ・9月26日（金）第六小学校6年生 車いす体験
- ・10月9日（木）第六小学校6年生 高齢者疑似体験



車いす体験の様子→



←高齢者疑似体験の様子

※紙面についての問合せは、以下までご連絡ください。

【問合せ】

東大和ボランティア・市民活動センター

TEL : 042-564-0035

FAX : 042-564-3680

募 集

2026年度「新・防災教育チャレンジプラン」実践団体募集のお知らせ

「防災教育チャレンジプラン」は、いつやってくるかわからない災害に備え、大切な命を守り、できる限り被害を減らし、万が一被害にあったときでも、すぐに立ち直れる力をひとりひとりが身につけられるよう、全国の地域、学校、企業や民間組織などの様々な担い手が防災教育を推進するためのプランです。実践団体のご応募お待ちしております。

【サポート内容】プラン実践にかかる経費補助（上限30万円）、助言・現地指導等

【応募締め切り】2025年11月28日（金）15時

【応募・問い合わせ】防災教育チャレンジプラン
実行委員会事務局

メールアドレス：cpinfo2865@bosai-study.net

防災教育チャレンジホームページ

(<https://bosaijapan.jp/challenge-plan/>)

再 掲

見守り・声かけ活動協力員募集

見守り・声かけ活動は、地域の方々がボランティアとして近隣の高齢者等のお宅へうかがい、声かけやさりげなく見守りを行う活動です。この活動に参加いただける方（協力員）を募集しています。身近なご近所で気軽に活動できます。関心のある方はお問合せください。

活動場所：お住まいの地域近辺

活動日等：月1～2回くらい

（地域によって異なります）

※現在活動している協力員と一緒に活動していただきますので、安心して始められるボランティアです。

【問合せ】東大和市社会福祉協議会 地域福祉係

TEL: 042-564-0012

